

# 平成22年産粗飼料の傾向

## ●乾草（1番草）の傾向（表1）

22年産イネ科主体混播1番乾草の平均値（表1）を見ると、ここ数年の低粗蛋白質、高繊維の傾向が続いていますが、更に繊維は高い傾向にあります。

表1. 乾草の平均値（乾物%）

	水分	CP	ADF	OCW	NFC
H22	17.3	7.8	42.9	74.5	14.6
H21	16.4	7.4	42.4	73.7	15.4
H20	15.8	7.1	42.1	72.8	16.1
H19	16.2	7.3	42.2	72.8	16.1
H18	17.3	7.7	41.8	71.5	17.1

## ●牧草サイレージ（1番草）の傾向（表2、3、4、図1）

低蛋白質、高繊維の傾向が続いており、更に高繊維の傾向は強く、OCWが75%以上の極端に高いサイレージが増え、リグニン含量も高いため、繊維消化性も劣るよう思われます（表2、図1）。ラップサイレージも同傾向にあります（表3）。

表2. 牧草サイレージの平均値（乾物%）

	pH	水分	CP	ADF	OCW	リグニン	NFC
H22	4.3	74.4	11.5	42.6	71.5	5.09	9.98
H21	4.3	73.5	11.8	42.0	70.7	4.95	9.98
H20	4.2	73.3	11.9	41.2	68.7	4.74	10.9
H19	4.3	73.7	11.8	41.7	69.3	4.92	10.7
H18	4.4	74.1	12.4	41.1	68.7	5.01	10.8

図1. 牧草サイレージのOCW分布割合

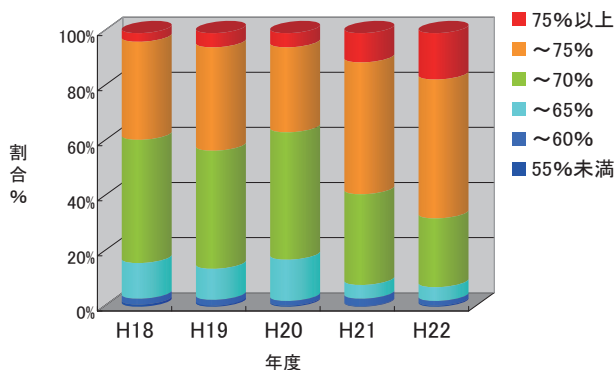


表3. ラップサイレージの平均値（乾物%）

	pH	水分	CP	ADF	OCW	リグニン	NFC
H22	4.9	41.2	10.7	41.3	70.0	4.37	14.1
H21	4.9	41.3	10.3	41.8	70.4	4.46	14.2
H20	4.9	41.4	10.0	41.4	69.5	4.21	14.6
H19	4.9	41.9	10.5	40.9	68.5	4.10	14.9
H18	4.9	44.5	10.6	41.1	69.0	4.27	14.6

22年産も含めこの2カ年は無機成分、特にマグネシウム、カリウム含量が減少傾向にあります。テタニー

表4. 牧草サイレージの無機成分の平均値（乾物%）

	カルシウム	マグネシウム	リン	カリウム	テタニー比
H22	0.44	0.15	0.29	1.97	1.52
H21	0.43	0.15	0.29	2.02	1.59
H20	0.46	0.18	0.30	2.43	1.75
H19	0.46	0.21	0.32	2.48	1.67
H18	0.43	0.21	0.32	2.43	1.71

比も低下傾向にあり、カリウム含量減少の影響が強くなっていきます（表4）。

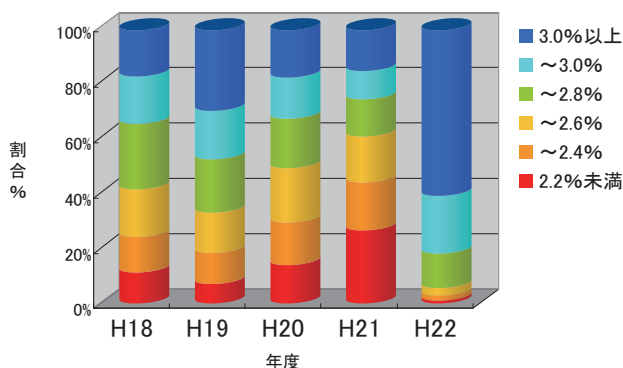
## ●トウモロコシサイレージの傾向（表5、図2）

22年産トウモロコシサイレージは例年より水分が低く、粗脂肪、デンプン、TDNが高い傾向にあります（表5）。粗脂肪分布を見ると、例年よりも3%以上の割合が非常に多いことが分かります（図2）。

表5. トウモロコシサイレージの平均値（乾物%）

	pH	水分	CP	ADF	NFC	EE	デンプン
H22	3.9	69.4	8.23	22.3	39.7	3.07	28.3
H21	3.9	71.4	8.04	24.8	40.8	2.52	24.9
H20	3.9	71.6	8.34	24.2	40.0	2.63	24.7
H19	3.9	69.3	8.34	22.9	40.7	2.79	25.7
H18	3.9	70.0	8.29	22.8	41.8	2.67	26.1

図2. トウモロコシサイレージの粗脂肪分布割合



## ●まとめ

乾草、牧草サイレージは高繊維が採食量の制限要因になる可能性もあります。設計で見込んだ量を採食できないことも考えられます。分析値だけではなく採食状況にも注意が必要です。

無機成分ではカリウム含量が低下傾向にあります。育てる牧草にとってカリウムは生体内で様々な養分を運ぶ役割も担い、不足すると収量だけでなく植物自体の組織も弱くなることがあります。これまでの施肥管理を検証する良い機会かと思えます。

トウモロコシサイレージは例年より水分が低く、夏場はカビ、二次発酵への注意がより必要かもしれません。また、例年より高脂肪、高デンプン傾向が強くと、①分析値通りに高エネルギーになる場合、②例年より熟期が進んだ分、子実が硬くなり消化され難く給与設計通りに行かないケースが考えられます。例年よりしっかりサイレージ原物や給与状況等を見るようにお願いします。（分析グループ篠田）

## 雪印種苗株式会社

編集発行人 岡村 一範  
 本社004-8531札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号  
 TEL (011)891-5911  
 FAX (011)891-5774